

福井工場 操業50周年を迎えて

<操業50周年を迎えて>

カンボウプラス福井工場は、2022年9月11日に操業50周年を迎えました。これもひとえにご支援いただきました皆様のおかげだと思っております。当時、青木工場（兵庫県神戸市）の樹脂加工部門を福井工場（福井県鯖江市）に移転し、合繊帆布の防火・防水加工が一貫で行える工場が誕生しました。お客様に満足していただける製品の製造を行うとともに、素材の複合化による新機能の開発、新製品の提供に努めることにより、社会に貢献してきました。これからもお客様に満足していただける製品づくりに取り組んでまいります。

<2022年度を振り返って>

2022年度は継続するコロナ禍・ウクライナ情勢の急変・円安の急激な進行・自然災害の頻発といった事態が重なり、これまで経験したことのない経営環境が大きく激変した年となりました。また、原材料価格・原燃料価格・物流費の高騰などが企業業績に大きな影響をもたらしました。このような厳しい経済活動の中でもSDGs（持続可能な開発目標）やカーボンニュートラルへの取り組みは活性化しています。これからも企業として社会的責任を果たし、地域と社会に貢献できる企業活動を継続していきます。

<環境に優しい会社へ>

地球温暖化対策として、脱炭素の取り組みが求められています。CO₂排出量削減の取り組みとして、照明のLED化（水銀灯含む）・省エネ設備導入・カーボンフリー電力の活用など様々な活動を実施しています。またゼロエネルギーで冷却できる膜材料を開発し、CO₂排出量削減・熱中症対策・食品鮮度維持などに貢献できる商品の販売も開始しました。今後も、CO₂排出量の削減・環境配慮型の製品開発・従業員の働き方改革などを考慮した会社となりSDGs経営に取り組んでまいります。

このたび2022年度の活動をまとめた「2023 CSR報告書」を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**

